



磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校

令和6年9月17日

第7号

発行責任者 天野 圭

キラキラとひとみが輝く二小の子ども

【みんなで作成した磐梯二小看板ができました】

本校は、県道沿いに学校案内の看板がありませんでした。看板があるのは、敷地内の駐車場の前のところですよ。

そこで県道沿いに学校案内の看板がほしいと思い、教育委員会に問い合わせたところ「安全に考慮し、敷地内であれば設置可能」と判断をいただき、2か月程時間を要しましたが、みんなで力を合わせて作成した看板が先日完成しました。内容は下図のとおりです。

内容の作成に当たっては、学級活動の話合い活動で決定した学年や担任の先生と話し合っただけで決定した学年等、学年によって相違はありますが、それぞれに学年の特徴が出ている内容だと思います。

若干、紙面の関係で表記でない箇所もありますので、各学年の内容等につきましては、お子様より直接お聞きください。併せて、学校に足を運んでいただき、じっくりご覧いただけましたら幸いです。

看板の作成にあたり、身内ですが用務員の矢吹さんやスクールサポートスタッフの阿部先生にも、かなりの力添えをいただきました。（個人的にはチーム職人と呼んでいます。）

また、お忙しい中ご足労いただきました町教育委員会教育長 高梨 哲夫 様にも感謝申し上げます。ありがとうございました。



キラキラとひとみが輝く 二小の子ども

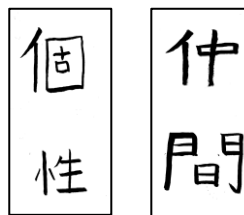
【いちねんせい】
がっきゅうもくひょう
げんき
いっばい
みんな
なかよし
にこにこ
がっきゅう

【2年生】
学級マスコット



【3・4年生】
3・4年生の歌
～抜粹～
～みんな 仲良く
明るく 元気に
あきらめない
ベストをつくす～

【5・6年生】
十人十色
個性あふれる仲間たち



【おぞら学級】
・しゅうちゅう
・ちようせん
・あきらめない
【わかさ学級】
・げんき
・あきらめない

【校内水泳記録会に思う】

先日校内水泳記録会が行われました。ここで成果と課題について考えて見たいと思います。

【成果】

- ・ 3名の子どもたちが大会新記録を出しました。素晴らしいことです。おめでとうございます。
- ・ みんなが最後まであきらめないで、泳ぎ切ることができました。
- ・ 1年生のビート板競争では、2年生以上の子どもたちが一生懸命に応援している姿がすばらしかったです。
- ・ 学年対抗フリーリレーでは、自分の学年はもちろんのこと、他の学年への応援、拍手を送る等学校全体としてよい雰囲気を感じました。

【課題】

- ・ 最近学校では大会ではなく記録会という名称がよく使われます。記録会で大切なことは、自分が最初の記録をしっかり把握し、自分の目標に向けて一杯学習することになります。子どもたちは最初の記録を抜こうと目指しているのか、その意識が薄い気がしました。
- ・ 水泳の体の動きは、いかに抵抗をなくして前へ進むかが大切になります。能率のよい動きや伸びるタイミング等、体の使い方を指導していかなければならないと思いました。

現在、全国的に中学校部活動地域移行型へ向かっています。水泳やスキー、他のいくつかの競技も全国大会を行わない傾向にあります。それだけに小・中学校の体育学習の大切さを実感します。がんばってできた喜びや仲間と努力した思い出は、運動で味わうことができる最高の満足感だと思います。私たち教師も体育の授業の必要性を考えていきたいと思います。

最後になりますが、町プールを気持ちよく使わせていただけたのも、プールのスタッフの方々のおかげだと思います。ありがとうございました。（水泳の写真は割愛させていただきます。）

祝 県大会出場 【全会津小中学校音楽祭（第2部合奏）】

先日行われました音楽祭では、今まで一生懸命に練習してきた成果をしっかりと発表することができました。演奏の順番が一番だったこともあり、緊張した表情を見せていましたが、音の強弱をしっかりと表現した立派な演奏だったと思います。練習の段階から感じていたのは、子どもたちがいやいやながらやらされているという感じがまったくしなかったことです。先生方の指導力も高いものがあると思いました。子どもたちの気持ちとして、「がんばればうまくなれる。」という合奏にかける非認知能力が高いと実感し、友達や先生を信じての練習風景にとっても感動していました。ご協力いただきました保護者の皆様にも心より感謝申し上げます。協力していただいた保護者の数が一番多かったことも本校の自慢です。ありがとうございました。



【校長のひとり言】

最近、心が折れそうになったことを紹介します。

- ①食品用ラップの先端が中のラップに巻き付いてしまい引き出せなかった時
- ②急いで作業をしているとき裸足の小指をドアにぶつけ、どこにあたっていいかわからない時
- ③熱く語れば語るほど、みんなが遠ざかっていく時